

科目名	作詞・作曲 3							年度	2025
英語科目名	Songwriting and Composition 3							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大野元毅		教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター			
【科目の目的】 オリジナル曲の根拠であるメロディーやコード、歌詞の創作方法を学ぶ。自分の楽曲のメロディーを譜面に記すスキルの習得、作詞作曲に関する実践的なテクニックの学習、リスナーの心に残るメロディーと歌詞の書き方を習得することで、自身の楽曲を向上させる方法を探求していく。									
【科目の概要】 オリジナル曲の根拠となるメロディーやコードと歌詞の創作方法を学びます。									
【到達目標】 A. 5線紙に自分が作った楽曲のメロディーを8小節書き、メロディー譜面を作ることができる。 B. 作詞作曲における3種類の実践的なテクニックを学ぶ。 C. リスナーの心に残るようなメロディーの書き方と歌詞の書き方を学ぶことによって自分の楽曲をより良い形で完成させることができる。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標 A	5線紙に自分が作った楽曲のメロディーを8小節書き、メロディー譜面を作ることができる		5線紙に自分が作った楽曲のメロディーを4小節書き、メロディー譜面を作ることができる					到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	作詞作曲における3種類の実践的なテクニックを体得する		作詞作曲における1種類の実践的なテクニックを体得する					到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	リスナーの心に残るようなメロディーの書き方と歌詞の書き方を学ぶことによって自分の楽曲をより良い形で完成させることができる		自分の楽曲を完成させることができる					到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、授業内試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		作詞・作曲 3			年度	2025
英語表記		Songwriting and Composition 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ポピュラー音楽の重要性	基礎知識の確認	1 作詞作曲復習	作詞作曲の基本理解	3	
			2 ポピュラー理論	1年次復習の定着		
			3 楽曲構造分析	音楽構成要素の把握		
2	度数の復習	度数理解を深める	1 度数理解復習	度数分析のスキル習得	3	
			2 音楽分析実践	音楽理論の理解深化		
			3 耳トレーニング	聴音能力の向上		
3	コードの復習	和声理論の定着	1 コード理解復習	コード理解の徹底	3	
			2 和音構造把握	和音分析の精度向上		
			3 コード進行習得	コード進行作成ができる		
4	日本語と音響学	日本語の音響を探る	1 日本語音響学	日本語音響学の知識習得	3	
			2 言語比較分析	日本語と他言語の比較		
			3 音響特性理解	音響学の違いの理解		
5	英語と音響学	英語の音響を探る	1 英語音響学	英語音響学の理論把握	3	
			2 言語特性把握	言語特性の分析能力		
			3 音声分析応用	英語歌詞の作成能力		
6	良いメロディの基本	メロディの原理を学ぶ	1 メロディー理解	メロディー作りの基本	3	
			2 作曲基本法	旋律創造の技術習得		
			3 旋律作成技法	メロディー理解の深化		
7	良いメロディの基本 (2)	メロディの応用を学ぶ	1 メロディー応用	メロディー創作の応用力	3	
			2 作曲技法習得	作曲技法の確立		
			3 旋律創造性	独自旋律の開発能力		
8	楽譜の書き方と実践	記譜法の習得	1 楽譜ルール学習	楽譜の正確な書き方	3	
			2 写譜浄書法	写譜・浄書の技術向上		
			3 楽譜実践練習	楽譜作成のルール理解		
9	楽譜の書き方と実践 (2)	楽譜の実技を習得	1 楽譜書き実践	楽譜実践技能の習得	3	
			2 浄書テクニック	正確な楽譜の作成		
			3 正確性向上	書法のスピード向上		
10	ヒット曲の分析	楽曲の構造分析	1 ヒット曲分析	ヒット曲分析の手法	3	
			2 歌詞メロディー研究	歌詞とメロディー分析		
			3 楽曲構造評価	楽曲構造理解の深化		
11	ヒット曲の分析 (楽曲解釈の技術)		1 曲分析応用	曲分析からの洞察力	3	
			2 メロディー深掘り	クリティカルリスニング		
			3 評価基準検討	楽曲評価の基準作成		
12	実践的作詞	実用的作詞の研究	1 作詞課題設定	作詞課題への挑戦	3	
			2 コマーシャル音楽	コマーシャル音楽の理解		
			3 創造性開発	創作プロセスの実践		
13	実践的作詞 (2)	クリエイティブ作詞法	1 作詞課題実践	実践的作詞技能の向上	3	
			2 楽曲開発応用	音楽制作への適用力		
			3 テーマ即応性	作品提出への自信		
14	自作曲のテスト	実作のスキル検証	1 自作曲提出	メロディー構成能力の展開	3	
			2 メロディー構成	歌詞作成の独自性		
			3 歌詞作成力	前期内容の総復習		
15	前期のまとめ	学期内容の総括	1 前期総括	知識の全体的な定着	3	
			2 知識定着確認	自己評価能力の向上		
			3 成果発表準備	成果発表準備ができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等